

### 3年『私』

——登場人物の設定の仕方を捉えることをとおして、文章に表れているものの見方や考え方について考える——

#### ○単元・教材の目標とポイント

##### 【単元・教材の目標】

- ・ 難語句の意味を調べ、文章の内容理解に役立てている。〔知識及び技能〕(1)イ
- ・ 三人の登場人物の人物像や個人データに対する考え方を比較して、個人データに対する自分の考えをまとめている。〔思考力，判断力，表現力等〕C読むこと(1)イ

##### 【単元・教材のポイント】

本教材は、情報としての個人，存在としての個人に対する考え方がそれぞれ違う「女性」「司書」「私」の3人について、特徴的な人物像をもちながら描かれている。作品の中心となっているのが「データ」である。昨今のさまざまな社会問題の中に、この「データ」に問題があることは自明のことで、作品の内容的にも現代の中学校3年生が読むにふさわしいものとなっている。情報としての個人に対する、3人の登場人物それぞれの考え方や行動を読み取り、整理して捉えることが内容の理解に不可欠である。

そこで、単元の課題を「登場人物の考え方に関して自分の意見を書こう」とし、人物紹介文を書くことと、登場人物の考え方に対する自分の意見を書くことの二つを言語活動として位置づけた。人物紹介文を書くことは、新学習指導要領の第2学年〔思考力，判断力，表現力等〕C読むこと(1)アの「文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。」により、2年時に理解したことと結びつけて指導した。これにより、登場人物の人物像や考え方をおさえ、最終ゴールである自分の意見を書くことへとつながるようにした。また、自分の意見を書くことで、新学習指導要領の第3学年〔思考力，判断力，表現力等〕C読むこと(1)イの「文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。」を指導した。登場人物の考え方に対して自分はどう考えるかということである。

この二つの言語活動の過程で、生徒は文章を俯瞰しながら分析的に読んだり、場面や状況、人物を具体的にイメージして、文章の内容をいっそう深く捉えられたりすると考えた。

##### 〈言語活動のポイント〉

- ・ 2年時に学習した教材『走れメロス』をもとに、人物紹介文のモデルと登場人物の考え方に対して自分の考えをもつことのモデルを示し、学習のゴールをイメージさせる。
- ・ 「3人の登場人物の人物像や個人データに対する考え方を人物紹介文にまとめる」という目的をもった読みをさせる。
- ・ 人物紹介文を書くための材料（プロフィールや性格，考えなど）集めは、思考ツール（ベン図）による協働的な活動をとおして可視化する。
- ・ 3人の登場人物のものの考え方を比較し、自分の考えを200字以内で書く。

#### ○評価規準

知識・技能	思考力，判断力，表現力等	主体的に学習に取り組む態度
・ 難語句の意味を調べ、文章の内容理解に役立てている。	・ 3人の登場人物の人物像や個人データに対する考え方を比較して、個人データに対する自分の考えをまとめている。 C読むこと	・ 文章をもとに、人物紹介文や自分の考えをまとめて書こうとしている。

○学習指導計画（全4時）

時数	学習活動	評価基準
1	○単元の課題をつかみ、解決のモデルを分析する。 ○文章を読んで、難語句を調べる。	◇課題解決のモデルを分析しようとしている。 ◇文章の内容を理解しようとして難語句を調べている。
2	○人物紹介文を書くために必要な3人の登場人物のプロフィールや性格、「個人データ」に対する考え方などを集めるために文章を読み、それを付箋に書く。	◇3人の登場人物の人物像や考え方を読み取って、付箋に書いている。
3	○前時に個で付箋に書いたものを持ち寄って適否を話し合い、人物紹介文を書く。	◇3人の登場人物の人物像や考え方を、人物紹介文にまとめて書いている。
4	○3人の登場人物の「個人データ」や「情報」に対する考え方をもとに、自分の意見を書く。 ○単元の振り返りを書く。	◇「個人データ」や「情報」に対する自分の意見を書いている。

○本時の展開（3／4時）

【ねらい】

- ・「女性」「司書」「私」それぞれの人物像や個人データに関する考え方を持ち寄り、小グループで適否を話し合うことをとおして、3人の人物の紹介文を書く。

【本時の展開例】

学習活動	指導の留意点	◇評価基準
1 単元の課題、学習の流れ、身につける国語の力を確認する。 ・「登場人物の考え方に対する自分の意見を書こう」です。 ・今日は人物紹介文を書きます。 ・文章を読んで、自分の意見をもつ力をつけます。 2 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                         登場人物の人物像や考え方にふれた人物紹介文を書こう。                     </div> 3 前時に個人で書いた3人の登場人物のプロフィール、性格、「個人データ」への考え方について、グループで発表し、ベン図にまとめる。 (1)個人でもっている付箋をベン図に貼りながら発表し合う。 (2)発表後、適否を話し合う。	○前時に個人でまとめた付箋を持ち寄って小グループで話し合うことをとおして、次時の「自分の意見文」をまとめる学習につながることを意識させる。 ○課題確認後、本時の学習の流れを簡潔に説明する。 ①小グループで話し合う。 ②人物紹介文を書く。 ③振り返りをする。 ○付箋は人物ごとに3種類に分ける。 ○文章中の根拠をもとに発表や話し合いをさせる。 ○それぞれの登場人物のプロフィールや性格、考え方について、適切と考えられるものには、印をつ	◇文章を根拠にしながら、3人の登場人物のプロフィールや性格、「個人データ」への考え方を発表し、適否を話し合っている。

<p>【「私」の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所勤務だ。</li> <li>・5年連続で「模範的な市民対応」で表彰された。</li> <li>・几帳面で頭の回転が速い。</li> <li>・相手をどう満足させるかだけを考えている。</li> <li>・「個人データ」が二重になっても、片方が残れば問題ないからもう片方は消されても構わないという考え。</li> <li>・「個人データ」がなくなることは、存在がなくなることになるということに気づく。</li> </ul>	<p>けさせる。</p> <p>○3人の登場人物が個人データと関わっている物語であることに気づかせ、それぞれがどう考えているかに焦点を当てさせる。</p>	
<p>4 話し合ったことをもとに、人物紹介文を書く。</p>	<p>○話し合った結果（ベン図）を見ながら、モデル文を参考にしてまとめさせる。</p>	<p>◇話し合ったことと文章をもとに、人物紹介文を書いている。</p>
<p>【「私」の例】</p> <p>市役所に勤め、「模範とされる市民対応」で5年連続で表彰されている、市民対応のプロ。几帳面で、頭の回転が速い。その対応は問題の解決よりも、相手をいかに満足させるかによるものである。</p> <p>二重になった個人データのどちらかがあればそれでよいと考えているが、どちらもなくなることは存在がなくなることになるのではと思っている。</p>	<p>○プロフィールや性格、「個人データ」への考え方の三つを入れることをおさえる。</p>	
<p>5 自分の人物紹介文を読み直して、今日新たに気づいた部分や修正したところにラインを引く。</p>	<p>○本時の学習の振り返りをさせる。</p>	

○授業の成果と課題

本時の授業は、研究授業で行った。参観者からあがった成果としては「文章全体を読まないと解決できない課題だった。」「ベン図と付箋によって学習が可視化され、効率的に登場人物の人物像が類型化された。」「ティーチングではなく、ラーニングの授業だった。」というものがあつた。4時間めの単元の振り返りでは、生徒から「話し合いで自分にはなかった考えがわかった。」という協働への前向きな考えが出たり、「便利は不便」「名前などの個人データは、親とか届けた人の思いがつかまっているものもある。」など、文章に表れているものの見方や考え方について、よく考えられた意見が出されたりした。

課題としては、参観者から「ベン図の必要性、意義、価値について。ベン図を使うなら重なった部分を考えさせるべきではないか。」「人物紹介文に相手意識をもたせるとよい。」というものがあつた。また、授業者としては、4時間めの自分の意見を書く段階で、「個人データ」や「情報」についての予備知識が少ない生徒に対して、一方的な個別指導の時間が多くなってしまい、もっと生徒が主体的に学ぶ方法があつたのではないかと反省している。

